

2025年度第2回 四国支部視察研修会 実施報告書

2025年度四国支部調査研究事業の一環として、「CEATEC2025 他視察研修会」を実施した。

1. 視 察 先 : ① KDDI MUSEUM (場所:東京都多摩市)
② CEATEC2025 (場所:千葉市幕張メッセ)
2. 研修期間 : 2025年10月16日~17日(2日間)
3. 参加者 : 10名(7名/4社+3名/事務局)

① 10/16(木) 12:30~14:00 KDDI MUSEUM 視察

電気信号のオンオフによるモールス通信から始まった電気通信が、無線通信、衛星通信、光ファイバー通信等の新たな通信技術を生み出し、電報から携帯電話によるパーソナル通信にまで発展した通信の歴史を辿ることで、その間の先人たちの努力や叡智を感じるとともに、我々も現代の通信インフラの構築に関わっていることを誇りに思える研修であった。

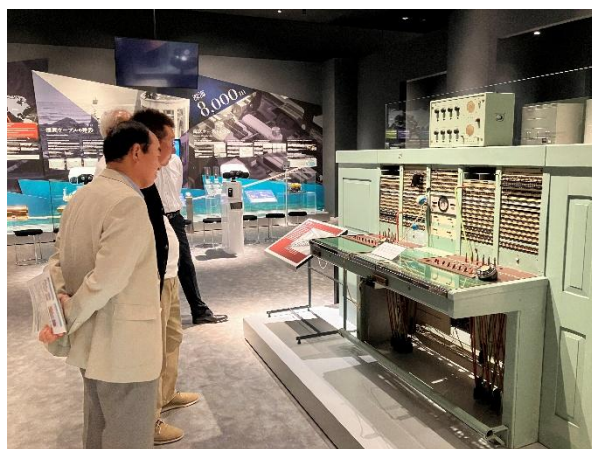
場所は京王・小田急多摩センター駅から徒歩10数分程度の所にある、KDDIの研修センター内にあり、予約制ではあるが入館料は1人300円と安価で、説明員による分かりやすい説明が大変良く、併設されているKDDI ART GALLERYでは、東山魁夷や平山郁夫の絵画、エミール・ガレのガラス工芸品等の価値の高い美術品を鑑賞することもでき、コスパの良い研修先であった。

<参加者の感想、印象に残ったこと>

- ・懐かしい設備が見られてとても良かった。
- ・初期の通信技術について、実際に使われていた装置を見て具体的にその仕組みを知り、大変な苦労と様々な知恵があったことを知ったことは、通信インフラに携わる一人として感慨深かった。
- ・ガラケーから最新のスマホまで、数百台の携帯端末が壁一面に展示されていたのは圧巻であり、技術の進歩を実感するとともに、古い携帯を使っていた頃を思い出し懐かしさを感じた。
- ・明治4年に長崎に引き込まれた海底電信ケーブルで世界と初めて繋がり、国外からの情報が早く届くようにはなったものの、長崎から東京まではまだ飛脚によって紙媒体として運ばれていたことを知り笑えたが、8年後の明治12年には全国の主要都市を結ぶ通信網が完成したとのこと。
※長崎だった理由は、デンマークの通信会社が敷設するウラジオストク~上海間の海底ケーブルルートの中継地点として選ばれたとのこと。ちなみに料金は欧文20単語までが基本料金で、現在の価格にして数十万円とのこと。
- ・6年前にも武蔵野市にあるNTT技術史料館を視察して電気通信の歴史を学んだが、それとは異なる視点の展示もあり、ここはここで良かった。
このような施設は大変貴重であり、我々の世代のみならず子供たちにとっても良い学びの場になると思うので、NTT、KDDIともに日本を代表する通信会社として社会貢献しているなと感じた。
- ・以前別の見学で海底ケーブルを見たが昔の海底ケーブルを初めて見た。あの時代に遠い距離を繋いで電気信号を送るという発想はすごいと思った。
- ・海底ケーブルの展示で設置する深度により構造を変えているというのが興味深かった。
加えて、過去の携帯電話の展示や交換機の展示で通信としての歴史も感じる事ができた。
- ・タブレットでのAR技術を使った基地局建設のシミュレーションを楽しみながら体験できた。
- ・現在に至るこれまでの通信技術の進歩や歴史を学習でき、面白かった。
- ・学生時代に国際電電を見学したことがあり、懐かしく感じたのと同時に、近年の技術進歩の速さに感銘を受けた。時間的にゆったりと見学ができ良かった。



参加者（受付前にて）



参加者（MUSEUM内）

② 10/17(金) 10:00~13:00 CEATEC2025 視察

26 回目の開催となる今年の開催テーマは「Innovation for All」。最先端技術の披露にとどまらず、テクノロジーが社会や暮らしにいかに関与するかを具体的に示すことで、人々の共感と参画を促し、イノベーションの社会実装を加速させる契機となることを目指すとし、「General Exhibits」「パートナーズ&グローバルパーク」「AX (AI Transformation) パーク」「ネクストジェネレーションパーク」の4つの展示エリアに810社・団体が出展していた。

最終日であったこともあり入場者が多く、その中でも一番目立つのは勿論、我々のような各業界のサラリーマン達であるが、高校生や大学生、専門学校生（たぶん高専か）と思われる学生の姿も多く見られ、先端技術に対する関心と CEATEC の人気の高さが伺えた。

<参加者の感想、印象に残ったこと>

- ・展示会の趣旨がだんだん曖昧になり、我々には関連が薄くなってきた感じがする。そのためか出展社数も減ってきている感じがする。
- ・前回視察した2年前にはあまり印象になかったAIの展示が非常に多くなっており、わずか2年間でも大きな変化があることを感じた。
- ・放熱との戦いであるデータセンター設備の冷却について、巨大なファンや水冷方式による展示がありスケールの大きさに感動した。ただ、今後AI利用の拡大により放熱量も更に増えてくると思うので、現行方式のスケール拡大だけでは無理で、新たな方式の冷却技術や省エネ技術の開発が必要だろうと思った。
- ・ミライト・ワングループのコンテナサイズのデータセンターを見て、小電力、小スペースで稼働が可能なので扱いやすい物だと思った。
- ・フジクラのブースでは光ファイバケーブルの1心に4つのコアを持つマルチコアファイバの展示があり、既に実用化されているとのこと、多心の光ファイバを必要とする場合に光ケーブル全体径を大きく縮小することができると思った。
- ・他のブースでは研究中とのことだったが、ドローンへのレーザー照射による給電の説明を受けた。レーザー照射の安全性等いくつか課題があるとのことだが、実現すればドローン作業の時間的な限界を広げることができる研究だと思った。
- ・AI技術とIT技術の融合が進み、セキュリティや健康管理など様々な分野での技術革新、進歩には面白味を感じた。
- ・AI関連ブースが多く、本業とはかけ離れているのかなと感じた。どの部分が、何に役立つのかが、判断できなかった。



会場内の様子



TVでも取上げていたバンカーショットのAI指導



会場内の様子



参加者（入口前にて）

③ その他意見他

- ・ CEATEC はもう止めにして、同時期なら「Japan IT Week」（幕張メッセ）、「Japan Mobility Show」（東京ビッグサイト）、3月になるが「SMART ENERGY WEEK」（東京ビッグサイト）も良いのでは。
- ・ 2日目の候補としては、味の素川崎工場（神奈川）、崎陽軒横浜工場（神奈川）、キリンビール横浜工場（神奈川）、アサヒビール神奈川工場（神奈川）、サントリー〈天然水のビール工場〉（東京）・〈武蔵野ブルワリー〉（東京）などがあります。
- ・ 今回が初参加であったが、皆様方と同行した視察研修会及び情報交換会は大変有意義でした。次回の視察見学会も可能な限り、参加させていただきたいと思います。

- ・ 次回の視察先候補として、他支部での視察実績もある「そなエリア東京」を推薦します。
- ・ 1年ぶりの参加だったが、やはり、CATV 技術協会四国支部の皆様や協会メンバーの皆様と親睦を深められるのは大変ありがたい機会であった。社内の参加状況にもよるが、可能な限り参加出来ればと思っている。

以 上